

第43回ISM – ケルン国際菓子専門見本市

2013年1月27日(日)～1月30日(水)

ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

– ファイナル・レポート –

- 菓子業界をリードするビジネスフェア「ISM」国際取引を促進
- 世界のビジネスとイノベーションの重要なプラットフォーム
- 150カ国から約35,000人の業界専門来場者

2013年1月27日から30日までの4日間、ケルンは国際菓子産業の中心地となりました。第43回ISM国際菓子専門見本市には150カ国から35,000人を超える業界専門バイヤーが来場し、菓子がその関心を集めました。ケルンメッセ副社長のカタリーナ・クリスティーネ・ハマは、「ISMは菓子業界に関係するグローバルな出展者とバイヤーを大きなスケールで結びつける唯一の見本市です。ISMは菓子業界にとって最も重要なビジネスとイノベーションのプラットフォームであり、この4日間に世界の購買決定権を持つトップバイヤーがケルンに集結しました。」と統括しました。また、国際スイーツ&ビスケットフェア・ワーキンググループ(AISM)会長でありドイツ菓子協会(BDSI)の執行委員でもあるバスチャン・ファッシン氏は、「ISMは菓子業界にとって必要不可欠であり、マーケットリーダーや中小企業にとってもドイツ国内だけでなく国際間の商取引に新たな勢いをつける見本市です。」と述べました。

多くの出展者が、業界に精通した有力バイヤーと集中した商談ができたと報告しています。ある焼き菓子の製造メーカーは、「毎回この見本市の国際性と、購買決定権を持つレベルの高い来場者に感銘しています。」と述べました。ドイツ国内の決定権を持つバイヤーだけでなく、ISMには海外のトップバイヤー、インポーター、菓子販売業者が多数訪れました。そのため見本市後の取引についてもドイツ国内、国際間ともに明るい見通しとなっています。あるチョコレートメーカーは、「会期中に行われた業界バイヤーとの商談や交渉はとて有意味なものでした。」と喜びを表明しました。今年のISMは海外からの来場者比率が引き続き高く、67%と前回はやや上回りました。それに伴い来場者の出身国も150カ国と増加しました。来場者数の多い国はベルギー、英国、イタリア、オランダ、アメリカ、日本となり、中東地域からも多く来場しました。出展者数も67カ国1,402社と高いレベルを保持しています。

また同時開催の菓子製造に関するあらゆる商品・技術を提供する資材専門メッセ「ProSweets」もすばらしい成果を残して閉幕しました。出展者数は30カ国325社、約100カ国から17,000人を超える来場者が訪れました。

ISM2013のデータ

総展示面積：110,000平方メートル

出展企業総数：67カ国から1,402社(外国企業比率:82%)

ドイツからの出展企業数：単独出展:219社、共同出展:30社

海外からの出展企業数：単独出展:1,141社、共同出展:12社

来場者数：150カ国から約35,000人(外国からの比率:67%)

日本からの出展参加：3社

ISM2013のトレンドなど詳しい情報は：<http://www.ism-cologne.com/press/>

次の第44回ISMケルン国際菓子見本市は2014年1月26日(日)～29日(水)の会期で開催されます。

ISMに関するお問い合わせは：

ケルンメッセ株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6 恵比寿ISビル5階

Tel:03-5793-7770 Fax:03-5793-7771 E-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp